

第5回日本在宅医療連合学会

在宅医療インテグレーター養成講座

～オンラインで開講～

なぜ「在宅医療インテグレーター」か！

在宅の現場は様々な問題であふれています。必要な医療的サービスやケアを受けながら、患者さんが安心して希望する場所で過ごすために、どうしたらよいのでしょうか。

各専門職は一生懸命関わっているのに、何かうまくいかない・・・

医療的ケアが苦手な福祉職、制度利用が苦手な医療職、どちらの視点も必要な・・・

患者さんの本当の想いはどこにあったのだろうか、あの支援は本当によかったのだろうか・・・

「連携」といいながら、単につなぐだけになっていないか・・・

こんなことを思ったことはありませんか？

各人が少しづつ知識・視野を広めたら、もっといい関わりができるのではないかと、私たちは考え、この講座を企画しました。

と、私たちは考え、この講座を企画しました。

さまざまな課題を抱える複合的な困難事例においては、単に多職種・多事業所を紹介してコーディネート(調整)するだけでは対処できません。医療や制度等を俯瞰する知識をもち、様々な職種や方法をインテグレート(統合)していく役割が必要です。在宅医療インテグレーターはそのような経験とスキルをもつ人材を意味しています。



基礎編：2021年9月25日(土)・10月16日(土)・10月17日(日)

応用編：2022年1月9日(日)・1月10日(月)・1月22日(土)

●定員80名(定員になりましたら締め切ります)

●受講料(6日間) 学会会員：25,000円 非会員：35,000円

●参加資格 以下3つの条件をすべてクリアすることのできる方(応募多数の場合には抽選とさせていただきます。)

- ① 医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、介護福祉士、介護支援専門員、相談支援専門員等の資格をもち5年以上の実務経験のある方
- ② 在宅等での医療にかかわる経験事例(在宅症例・退院支援・入院支援・連携支援等)を申し込み後にご提出いただける方(研修内容の検討に使わせていただきます。)
- ③ 全課程に出席することができる方(応用編全日のみ翌年に持越すことが可能です。1日だけの持越しは出来ません)

●受講条件 以下2つの条件をクリアすることのできる方

- ① 安定的な通信環境(光回線推奨)とデバイス等をお持ちの方。

・情報処理端末 (A)デバイス パソコンを使用(スマートフォンやIpadは不可)
(B)OS Windows8.1以降, Mac OS 10以降
(C)ブラウザ Chrome, Internet Explorer, Safari, Edge等

・カメラ 付属のカメラ、外付けのカメラいずれか
・イヤホン

- ② パソコンの基本操作ができる方

・ZOOMをつかってオンラインコミュニケーションができる
・youtubeで映像をみることができる
・添付の資料の印刷やWEBアンケートへの回答ができる

申し込み方法と
プログラムは裏面
をご覧ください



●主催 一般社団法人日本在宅医療連合学会

●共催 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 日本難病医療ネットワーク学会

●後援 一般社団法人全国訪問看護事業協会 公益社団法人日本看護協会 公益財団法人日本訪問看護財団
一般社団法人日本神経学会 公益社団法人日本介護福祉士会 一般社団法人日本介護支援専門員協会
一般社団法人日本神経治療学会 一般社団法人日本ケアマネジメント学会 NPO法人医療制度研究会
一般社団法人日本作業療法士協会 一般社団法人日本言語聴覚士協会 公益社団法人日本理学療法士協会

【お問い合わせ先】 日本在宅医療連合学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階
TEL&FAX 03-5802-3490 E-Mail: zaitaku@juntendo.ac.jp

第5回(2021年)

在宅医療インテグレーター養成講座 ～オンラインで開講～

●プログラム(プログラムはワーキンググループで開発改良が続いているため変更の可能性があります)

基礎編(仮)

- 自習(オンデマンド動画の視聴)
がん、認知症の基礎知識、社会保障制度総論、意思決定支援、診療報酬等
- 9月25日(土) 14時～17時30分
在宅医療インテグレーター論1
症例検討を通して学ぶ
ワーク1:がん
- 10月16日(土) 14時～17時30分
ワークシートの使い方
ワーク2:難病
- 10月17日(日) 9時～12時30分
ワーク3:認知症
ワーク4:臓器不全
まとめ

応用編(仮)

- 自習(オンデマンド動画の視聴)
臓器不全、精神疾患の基礎知識等
- 1月9日(日)9時～12時30分
在宅医療インテグレーター論2
ワーク5:複合的な問題症例1
(精神障害+がん+独居等)
- 1月10日(月)9時～12時30分
ワーク6:小児在宅
- 1月22日(土)14時～17時30分
ワーク7:複合的な問題症例2
(COPD+認知症)
まとめ

※テキストは印刷したものを開講日2週間前までにお送りします。オンライン講義当日にZoom内で共有したファイルや参考資料は後日データ配信いたしますので各自印刷くださいますようお願いください

【修了者の感想】

- ・自分の地域をインテグレートしていくために明日から何をアクションしていくか、地域での自主的な事例検討やお互いの仕事が見える顔合わせ、情報交換、勉強会どんな地域を目指すかを考えることができた。
- ・インテグレーターの役割を地域包括業務で発揮するには医療と介護の連携の推進になると思う、まずは業務内で出来ることをやっていく。
- ・どの疾患の方でもどの段階にあるのかを理解し生活を一緒に考えていくということ。
- ・COPD、認知症、虐待等日ごろ困るケースが多かったので勉強になった。
- ・インテグレーターとしての役割(自分が主体となるわけではなくチームを動かす)を理解できた。
- ・普段の業務に役立つ情報や考え方、視点が沢山あった。
- ・基礎編応用編を日常業務に活かせるよう学び続けていかないとならない。
- ・今後さまざまなケースに対応することがあると思うが、自身のスキルアップの必要があると感じた。

●申し込み方法

- ① 在宅医療連合学会のホームページから申し込みする。<https://www.jahcm.org/integrator.html>
- ② 申し込み後、ホームページ上にある様式に事例を記入し、「事前提出事例」を学会事務局に送付する
- ③ 受講料を振り込む
- ④ 上記、①、②が確認でき次第、学会事務局より受講確認と受講の詳細の連絡がくる



【お問い合わせ先】 日本在宅医療連合学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階
TEL & FAX 03-5802-3490 E-Mail: zaitaku@juntendo.ac.jp

